



道志川北岸の山稜高くから七つの段階に渡り、細流が落下しています。岩肌が露出し、道志谷の「白い滝」として広く知られています。大室指付近の国道から見る事ができ、明治時代の英国外交官アーネスト・サトウは、まるでスイスのようだとし記しています。



道志川の支流宝永沢にあり、名前のとおり豪快に幅広く流れる右の「雄滝」と、糸のように細く長く流れる左の「雌滝」とそれぞれ様相が異なっており、自然の創り出したすばらしい芸術です。国道から200mほどで見ることができます。

雄滝・雌滝のロマン

その昔、大蛇の化身である美男子と、この滝の精の大蛇の美女が恋におちいり、時々この滝で逢瀬を楽しんでいたと言う。明け方近くになると美男子は直ちに大蛇に変わり、周りの草木を押し分けながら山奥に帰って行ったと言う。後に、誰言うとも無くこの滝に祈ると良縁に結ばれると言う噂が流れた。この話を聞いた一人の村娘がお参りを続けたところ、不思議にも良縁に恵まれて、やがて玉のような男の子を産み、幸せに恵まれながら、その家は永く栄えたと言うことです。

道志村子ども農山漁村地域協議会 道志村観光協会 〒402-0211 山梨県南都留郡道志村6894-4

TEL 0554-52-1414 FAX 0554-52-1415 URL <http://doshi-kanko.com>

このリーフレットは、広域連携共生・対流等推進交付金から助成を受けて作成しています。